

## 病害虫発生予察注意報(第2号)

平成26年5月30日  
神奈川県農業技術センター

病害虫名：オオタバコガ

作物名：ナス、トマト、ピーマン等

1 発生地域：県内全域

2 発生量：多

3 発生時期：6月～7月

4 注意報発令の根拠

- (1) オオタバコガ雄成虫のフェロモントラップによる調査では、三浦市初声町和田および横浜市神奈川区羽沢町において、5月2～5半旬にかけて誘殺数が急増し、平年よりかなり多い(図)。また、伊勢原市下谷におけるフェロモントラップへの誘殺数も5月2～4半旬にかけて過去5年平均値に比べ多い。
- (2) 県予察ほ(平塚市上吉沢)のオオタバコガ雄成虫のフェロモントラップによる調査では、誘殺数は平年より多い。
- (3) 向こう1ヶ月の気象予報(5月23日発表)によると、気温が平年より高い予報のため、次世代幼虫の発生も多くなると考えられ、ナス、トマト、ピーマン等への加害が多くなることが予想される。

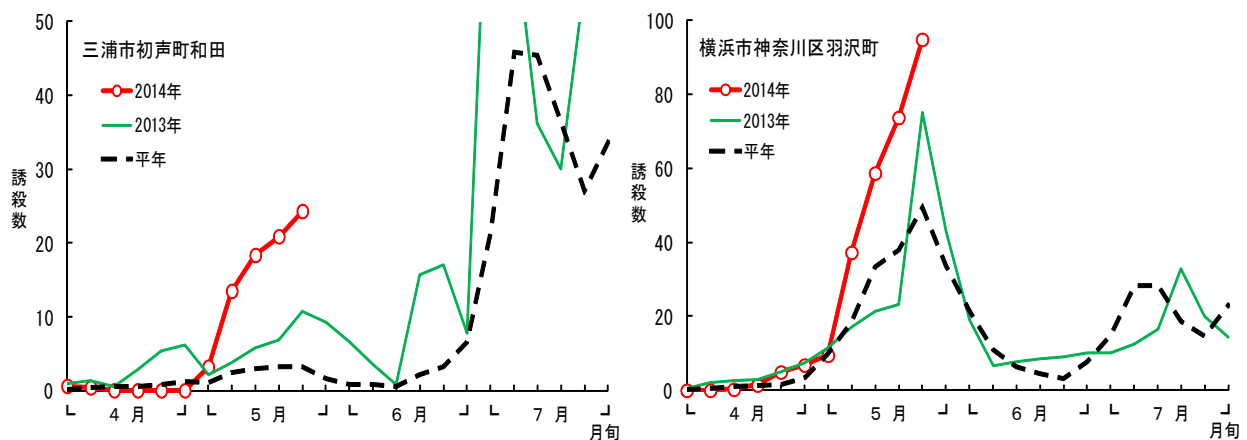


図 オオタバコガ雄成虫のフェロモントラップ誘殺数

## 5 防除対策

- (1) 3 齢以降の幼虫は果実や花等に食入し、薬剤がかかりにくくなる。また、齢期が進むほど薬剤の効果が低下するため、果実や花をよく観察し、若齢期を中心に防除を行う。
- (2) 抵抗性を発達させないため、同じ系統の薬剤は連用せず、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

## 6 防除薬剤

防除効果が高いと予想される農薬を表に示した。なお、農薬使用の際は、適用作物、使用量、使用濃度、使用時期、総使用回数をラベルの表示により必ず確認する。

表 薬剤例

系統	薬剤名	適用の有無		
		ナス	トマト	ピーマン
マクロライド系	アフーム乳剤	○	○	○
	アネキ乳剤	○	○	○
プロペニルオキシフェニル系	プレオフロアブル	○	○	○
スピノシン系	スピノエース顆粒水和剤	○	○	○
	ディアナSC	○	○	*2
呼吸酵素阻害系	コテツフロアブル	○	○	*3
ベンゼンジカルボキサミド系	プレバソフロアブル5	○	○	○
	フェニックス顆粒水和剤	○	○	○
オキサダイアジン系	トルネードエースDF	○	○	○
マクロライド系+IGR(キチン合成阻害)	アフームエクセラ顆粒水和剤	○	○	○
IGR剤(キチン合成阻害)	マッチ乳剤	○	○	○
	カスケード乳剤		○	○
	アタブロン乳剤	○	○	○
	カウンター乳剤	○	*1	*4
IGR剤(脱皮ホルモン)	ファルコンフロアブル	○	○	○
	マトリックフロアブル	○	○	○

\*1：トマトの適用は「一番花の開花まで」

\*2：ピーマンでは、アザミウマ類で登録あり。

\*3：ピーマンは品種により葉に薬害を生じることがある。

\*4：ピーマンに使用する場合、他の農薬と混用又は展着剤などを加用すると薬害を生じる恐れがあるので混用は避ける。

**神奈川県農業技術センター  
病虫害防除部**

〒259-1204 平塚市上吉沢1617

TEL 0463-58-0333

FAX 0463-59-7411

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f450002/>